



しょうけい館
(戦傷病者史料館)

オンライン学習支援 プログラム



しょうけい館は、戦傷病者等が体験した戦中・戦後の労苦を語り継ぐために、厚生労働省により設置された施設です。

当館では、オンライン会議システムを用いたスタッフによる解説と、資料レプリカの貸出をセットにした学習支援プログラムを承っております。平和学習や総合的な学習の時間などでご活用ください。

しょうけい館(戦傷病者史料館)

オンライン学習支援 プログラム

オンライン会議
システムを用いた
解説

Zoomを使用し、教室としょうけい館をつなぎます。
インターネットが接続できて、オンライン会議ができる環境であれば、どれだけ遠方であっても実施可能です。

特徴

資料レプリカの
貸出

戦傷病者の
体験を通して知る
戦争

実物資料を忠実に再現したレプリカに触れながら解説を聞くことができます。

戦中・戦後の時代背景を踏まえながら、戦傷病者がどのような体験をしてきたのか紹介します。

利用の流れ



1

ご希望の日時が決まりましたら、まずは電話、メール等でご相談ください。実施可能な日時か確認いたします。



2

当館ホームページに掲載の申請書をご記入の上、メールまたはFAXにてお送りください。



3

プログラムの進行について、先生とオンラインで事前打合せを行います。その際、教室の接続環境等も確認します。



4

プログラム実施の2日前までに、資料レプリカを送付します(着払い)。



5

使用が終わりましたら、資料レプリカをケースに収納して当館までご返却ください(元払い)。

注意事項

- プログラムの実施は、原則として当館開館日の10時から17時までです。
休館日：月曜(祝日または振替休日の場合はその翌日)
- プログラムの実施にかかる費用は無料ですが、資料レプリカの往復送料はご負担ください。
- 実施に際しては打ち合わせなど準備期間が必要となります。実施予定日の1か月前までにお申し込みください。

プログラムの 実施環境について

プログラムの進行に必須となるもの

- ① Zoomを使用できるパソコン1台
- ② パソコンの画面を表示できるモニターまたはプロジェクター等1台
- ③ パソコンの音声を出力できるスピーカー(②に内蔵のものでも可)

質疑応答のためにあると良いもの

- ④ Webカメラ1台(①に内蔵のものでも可)
- ⑤ マイク1台(①に内蔵のものでも可)

